



ヒロ・トミザワ 「オリンピア劇場の歌姫」
ガラス絵・裏面より水彩



ミロコ・マチコ 「ベタ」 水彩・紙

(会
員)
秋山功
伊藤英一
伊東總吉
薄井良昭
宇都宮義文
太田真雄
小松富士男
佐々木征
佐藤裕幸
杉野和夫
鈴木忠男
鈴木正道
中井嘉文
野口勉
福井豊
福田豊万
福堀良慶

(敬称略・50音順)

NPO法人あーと・わの会 通称：「わの会」

第37回放談会

2014年4月29日(火・祝日)14時～17時
於 東京・京橋区民会館 洋室5号室



第37回放談会

1. 日時 2014年4月29日(火・祝日) 14時～17時

2. 場所 東京・京橋区民会館 洋室5号室

3. 出席者(計17名、敬称略、50音順)

秋山功、伊藤英一、伊東總吉、薄井良昭、宇都宮義文、太田貞雄、小松富士男、佐々木征
佐藤裕幸、杉野和夫、鈴木忠男、鈴木正道、中井嘉文、野口勉、福井豊、福田豊万、堀良慶

4. 司会進行・佐藤裕幸、 書記・鈴木忠男、 写真、編集制作・野口勉

5. 放談会(発表順)

①野口勉

小村雪岱 (こむら・せつたい) 1887-1940



木版画「お傳地獄」14×20cm
制作年不詳

挿絵原画 墨・紙
2点とも題名・制作年不詳
12.5×14.5cm 13×20cm
(斬るな剣 ?) (祇園夜話 ?)

小村雪岱:埼玉県川越生れ

1908年東京美術学校日本画科卒業、1914年泉鏡花の「日本橋」の装幀を手がける。

1933年-34年 挿絵の代表作「おせん」「お傳地獄」を発表

装幀、挿絵、舞台美術の分野で確固たる地歩を築く。

- 雪岱存命中の版画作品は極めて少ない。ほとんどが没後作られた復刻版である。
- 挿絵原画のほとんどは新聞社・雑誌社が所有していたが火災で焼失してしまった。
- 1918年 資生堂意匠部で商品や広告のデザインに携わる。

<談>

雪岱の全貌があらためて明らかになったのは、2000年に入ってからである。

地元の田中利明(田中屋コレクション)と岩城邦男(岩城コレクション)が収集した膨大な資料が公立美術館に寄託されたことによる。このふたりの収集家の功績は大きい。

②杉野和夫



アンドレ・ブーリエ
「湖上の漁船団」
油彩・板 F 3号

1936年フランスに生れたアンドレ・ブーリエは、陶芸家として働いていた10代の時に色彩の扱い方を学んだ。モネの巧みな光の表現に感銘を受け自身も印象派的手法を用い、頭より心（ハート）に訴えかける作品を描いていこうと決意する。1996年にはアトランタオリンピックの公認アーティストに選ばれた。作品は海をはじめ光に満ちた静けさ、神秘的な風景画が多い。

<談>1987年と1990年に日本の主要都市で個展を開催し人気を博した。

③福田豊万



「ベタ」水彩・紙 20×30cm
制作年：2013年
ミロコ・マチコ

「くま」油彩・板 3号
制作年：2012年
神宮和也

2013年、「まあるい広場」で行われた「PEACE」展にて出品して頂いた作家です。

*臨床美術

独自のアートプログラムに沿って創作活動を行うことにより脳が活性化し、認知症の症状が改善されることを目的として開発された。1996年に医者・美術家。ファミリーケアアドバイザーがチームとなってスタート、現在では●介護予防事業など認知症の予防●発達が気になる子どもへのケア●小学校の授業「総合的な学習の時間」●社会人向けのメンタルヘルスケアなど多方面で採用している。

④鈴木忠男



和紙に墨、木版 何枚もあり 色彩もあり

襖絵の見本のような。制作年は年記ないので不明だが明治以降だろう。
100年くらい前のものと思う。

<談>着物や帯などの下絵かもしれない。

⑤伊藤英一



作家： 知貴 「順風」 アクリル・紙 55×78cm 制作年：1983年

1983年全国農民画展2等 人民日報表紙
文化大革命時代の熱風、息吹を感じさせるおもしろい作品です。
直接、中国へ作家を訪ねて行き購入したものです。

⑥太田貞雄



早川義孝 1936－2012 「まぼろしの魚」 油彩・キャンバス SM号 制作年:1981-1982年

東京出身、少年時代に千葉県柏市に移住、1954年全日本学生油絵コンクールで文部大臣賞、翌1955年にも連続して同賞、武蔵野美大中退、1962年第6回新槐樹社展・内閣総理大臣賞、文部大臣賞、栄誉賞の各賞、第6回安井賞候補展出品、1965年フジ・インターナショナル・アートギャラリーにて個展、1981年第1回インターナショナル国際展・金賞、同年から1997年まで中宮画廊にて個展、1989年パリ・ギャルリ・マルセルベルネームにて個展、同年第4回現美展に2000年まで11年連続出品、銀座和光、Bunkamura Galleryなど全国各地で個展

<談>メルヘンタッチの作品は根強い人気がある。

⑦福井豊



中澤弘光(画)、山岸主計(刻)、西村熊吉(摺)
大正12年文雅堂刊「大近松全集」付録木版
より「松風村雨東帯鑑」の「松風(海女の図)」
多色摺木版 32×23cm 制作年：1922年

平安時代、天皇の勸気を蒙り須磨に流された
在原行平と海女の姉妹、松風と村雨の物語
1690年代の近松門左衛門作の浄瑠璃

原版は全て大正12年関東大震災で焼失

山岸主計(画、刻、摺) 1891－1984
「ヴェニス・ゴンドラ」
多色摺木版 26×18cm 制作年：1930 - 1931年

木版彫版師として知られる山岸主計の自画自刻
自摺作品。1891年長野上伊那生れ、1906年上京
木版彫版師・武藤秀吉に師事、1926 - 1927年渡米
個展、木版指導、1928年渡欧、1930年世界百景木
版画着手そのうちの1枚(小型版)
1931 - 1938年日本版画協会会員出品

⑧鈴木正道



大沢昌助 「顔・緑」 リトグラフ EA 制作年：1970年

大沢氏の年譜によると「この年はじめてフジ美術よりリトグラフを発表する」

その1点がこれか。小生「顔・黄」も持っています。

●1970年多摩美大を退職（16年在職）

この時期の作品：「白い人」（68）、「ダフネ」（第55回二科展）、「過る女」（72第57回二科展）、「横たわる像」（第58回二科展）など

●サイン 「S.Osawa」 1981年以降「S.O」か。

⑨中井嘉文



藤島武二 「裸婦」 水彩・紙 27.5×24cm 東京美術倶楽部・鑑定証付

画集（2010年日動出版）に掲載されている作品です。

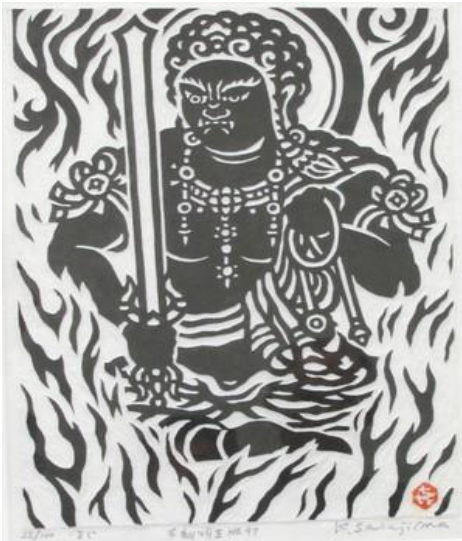
モチーフは裸婦ですが当時は多分に珍しかったであろうテニスラケットを体の前に持った構成になっています。

作品の描かれた時代から構図は珍しいし面白いと思って購入したものです。

美術史上の価値や位置付けについてはわかりません。

おわかりの方はぜひ教えてください。

⑩伊東總吉



笹島喜平 「不動明王 No.97」 木版・拓刷り 40×30cm 制作年：1985年

拓刷りの第一人者である作者の作品は風景を描いたものが多いが、不動明王の連作は100点をかぞえる。この作は銀座養清堂画廊で求めたものだが小ぶりながら不動の顔貌はきびしく、また火焰など拓刷りの鑿のあと（凸凹の流れ）と相まってその特徴の生きた晩年の良作とっております。

<談>栃木県益子に笹島喜平館がある。

⑪薄井良昭



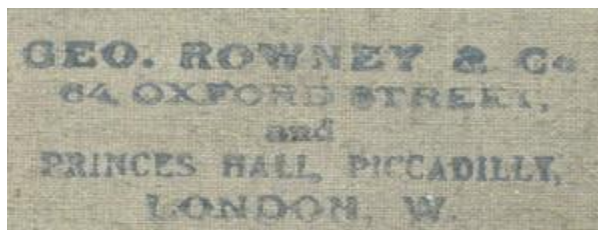
ヒロ・トミザワ「オリンピア劇場の歌姫」
ガラス絵・裏面より水彩 SM号
制作年：2014年

吾妻橋アビアント、レクイエム展にて取得
ポルトガルのファド歌手の像
哀愁漂う歌声を酒場で聞いているような気分になる。

岡野浩二「少年時代」油彩・キャンバス 3号
制作年：不詳

現在は「岬石」(コウセキ)と作品にサインすることより、同作はそれ以前の若年の創作か。
少年小説「トムソーヤの冒険」や映画「スタンドバイミー」を連想させ、まさしく少年時代を彷彿とさせる。

⑫佐藤裕幸



作者不詳 「女性像」油彩・キャンバス 45×36cm

10年位前、富岡八幡宮の骨董市で購入したもの。
キャンバスの裏にロンドンの画材店のスタンプが押されている。
いつの時代のものかわからないが相応の画家の手によるものであろうか。

⑬堀良慶



森敬子「ならぶ」油彩・キャンバス
SM号 制作年：2000年



森敬子「おいで」鉛筆デッサン・紙
27×20cm 制作年：2008年

画家(兼コレクター)の高橋正子さんに紹介いただいた作家です。
「ならぶ」は(平成15年)柏わたくし美術館で森敬子展開催時に求めた作品です。
「おいで」は個展で求めたもの。私のコレクションの多くは心の癒しを求めたもの、他のコレクションは心の刺激、活性化を求めたものです。心の隅では経済的効果(値上がり)を願っていることは否定しませんが求めの芯ではありません。この2作品も純粋に心の癒しを求めたものです。作家もとても心豊かな方です。

1947年兵庫県生れ、1970年二科展初入選、二科会・藤井二郎に師事、1988年二科会・天野三郎に師事
1993年銀座プランタンで個展、以降1～2回/年の個展活動、1995年池袋三越で個展、1997年京橋並樹画廊
で個展、2003年柏わたくし美術館で森敬子展、2012～14年ギャラリーアピアント、新潟絵屋で森敬子展

○佐々木征さんから
森田恒友の画集や文献を所有されている方がおりましたら貸していただけますか。
現在調査研究していますが参考資料が少なく苦慮しています。

○放談会終了後、懇親会を実施しました。

○次回放談会は平成26年7月に実施予定です。

(文責:鈴木忠男)



<編集後記>

皆さまの持参された作品も多様、複眼的視点で楽しめ至福なひと時でした。(の)

発行 : NPO法人あーと・わの会 通称「わの会」
発行日 : 平成26年5月吉日
編集 : 実行委員
佐藤裕幸(司会進行) 鈴木忠男(書記) 野口勉(写真・編集制作)

連絡先 : 事務局 〒277-0871 柏市若柴1-358 堀良慶
TEL 04-7134-8293 ryokeihori@yahoo.co.jp

発行部数 : 75部